

「伴走型小規模事業者支援推進事業」
 需要開拓支援に係るワークショップ開催実績報告書

1. 補助金額 441,720円

2. 事業名

職人の町 湖東を巡る 手技ワークショップ

3. 事業の概要

【目的】 当地域とそこに根付く地盤産業について域外からのfanをつくる（増やす）。

【手段】 五城目の朝市（鍋まつり）や、福祿寿の酒蔵見学で当地域を知ってもらい、湖東3町匠集団事業所にて体験型講座を受講する事でものづくりを体感してもらう。

【効果】 将来的にはワークショップを切り口に販路拡大や事業承継を目指す。

【対象者】 域外からの募集として、秋田市内を中心に湖東地区のものづくりや、地域に興味のある方を対象とする。

【開催日時】 平成29年2月12日（日）9：00～17：00

【募集方法】 募集チラシを1000部作成し、配付リストの通りチラシを配架、また、商工会のfacebook ページ及びホームページによる募集の周知と、商工会が構築するネットワークを活用したfacebook による情報拡散。県紙である秋田魁新聞に事業の開催記事を掲載したパブリシティの活用。

【募集人員】 25名

【参画者】 6事業所

建具製造、食品製造、皮革製品製造、木材木製品製造、石材加工、武道用品製造

【事業内容】

時間	内容
9:00	秋田駅東口5番乗り場より、参加者を乗せバスが出発
10:00	地元酒蔵見学 五城目朝市「鍋まつり」見学
11:00～12:00	【食品製造業】製造体験26名 昼食／ワークショップ5事業所動画鑑賞／ワークショップ5コース抽選
13:05～15:05	【皮革製品製造業】参加者6名 生活小物作り体験
13:10～15:10	【武道用品製造業】参加者5名 武道具製造体験
13:15～15:15	【建具製造業】参加者5名 製造・作業体験
13:20～15:20	【木材木製品製造業】参加者5名 製造体験
13:30～15:30	【石材加工業】参加者5名 工場見学 作業体験 製品使用体験
15:45～16:00	湖東3町商工会にて閉講式 秋田市へ向けてバス出発
17:00	秋田駅東口5番乗り場到着し参加者解散

【アンケート集計による参加者の評価】

Q1：あなたの性別、年齢、職業、居住地についておたずねします。

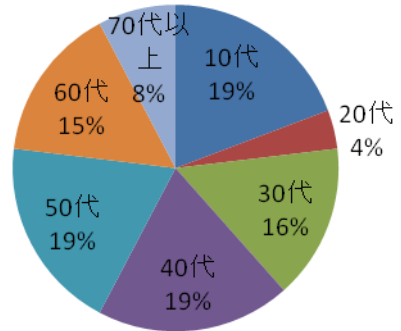
性別		
1	男	10
2	女	16
		26

年齢		
1	10代	5
2	20代	1
3	30代	4
4	40代	5
5	50代	5
6	60代	4
7	70代以上	2
		26

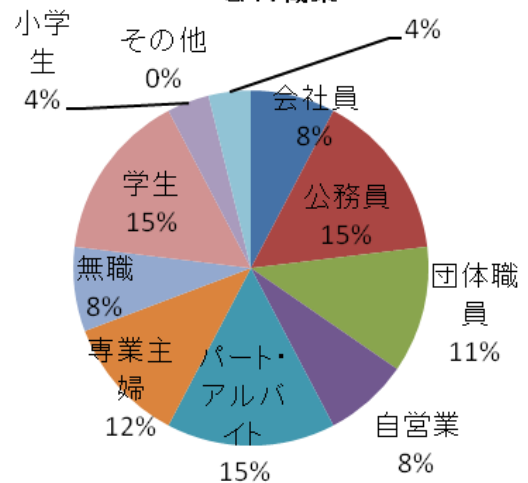
職業		
1	会社員	2
2	公務員	4
3	団体職員	3
4	自営業	2
5	パート・アルバイト	4
6	専業主婦	3
7	無職	2
8	学生	4
9	その他	0
10	小学生	1
11	その他	1
		26

居住地		
1	秋田市内	23
2	八郎潟町	2
3	東京都	1
		26

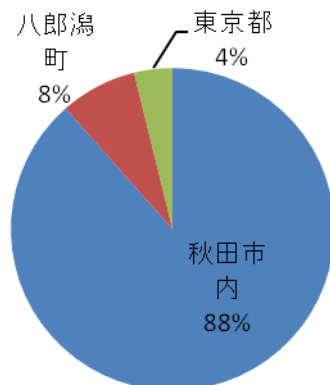
Q1.年齢



Q1.職業



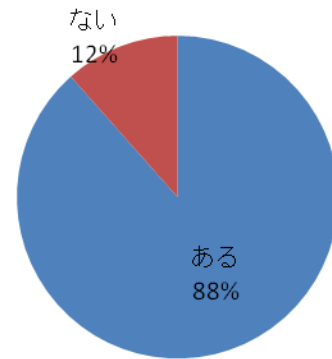
Q1.居住地



Q2：あなたはこれまで「湖東3町」を訪れた事がありますか？

1	ある	23
2	ない	3
		26

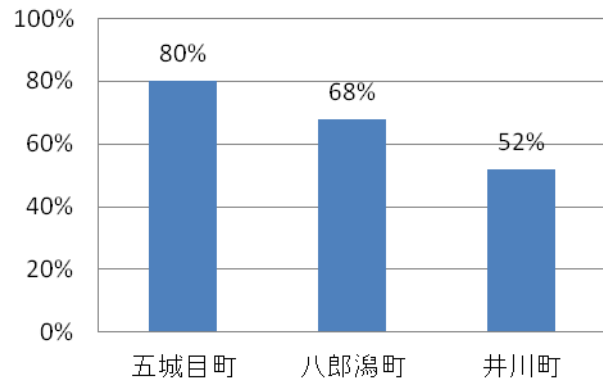
Q2.3町を訪れた事がありますか



Q3：(Q2で「ある」と回答した方へ) どちらを訪れましたか？

1	五城目町	20
2	八郎潟町	17
3	井川町	13

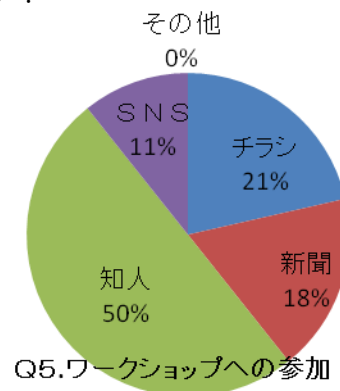
Q3.訪れた事のある町



Q4：あなたは今回のワークショップを何で知りましたか？ (複数回答者有り)

1	チラシ	6
2	新聞	5
3	知人	14
4	SNS	3
5	その他	0
		28

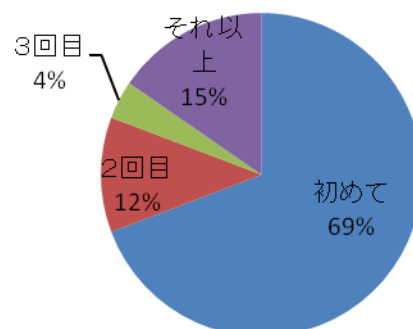
Q4.何で知りましたか



Q5：あなたはこれまでワークショップに参加したことがありますか？

1	初めて	18
2	2回目	3
3	3回目	1
4	それ以上	4
		26

Q5.ワークショップへの参加

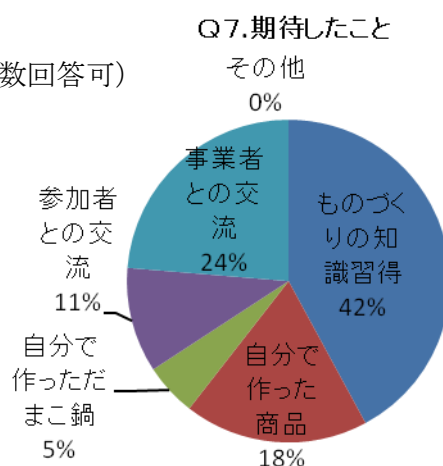


Q 6 : 今回のワークショップへ参加された主な理由はなんですか？（複数回答可）

1	ものづくり	7
2	朝市	3
3	酒蔵見学	4
4	料理体験	1
5	創業等	0
6	テーマに感心	10
7	知識や経験の習得	3
8	その他	2
		30

Q 7 : 今回のワークショップに何を期待しましたか？（複数回答可）

1	ものづくりの知識習得	16
2	自分で作った商品	7
3	自分で作った料理	2
4	参加者との交流	4
5	事業者との交流	9
6	その他	0
		38

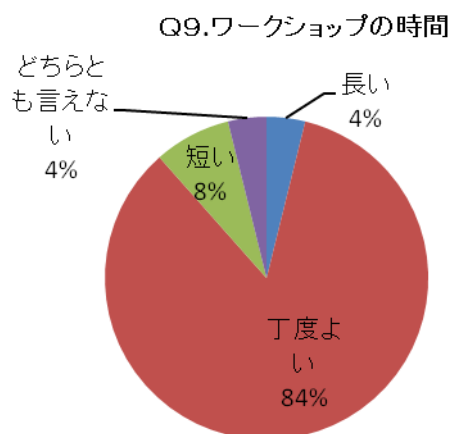


Q 8 : 今回あなたが午後から体験したワークショップは何でしたか？

1	皮革製造業	6
2	建具製造業	5
3	木材木製品製造業	5
4	石材加工業	5
5	武道用品製造業	5

Q 9 : あなたが午後から体験したワークショップの開催時間はどうでしたか？

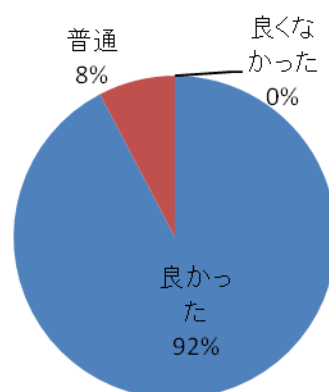
1	長い	1
2	丁度よい	22
3	短い	2
4	どちらとも言えない	1
		26



Q10：あなたが午後から体験したワークショップの内容・説明はどうでしたか？

1	良かった	24
2	普通	2
3	良くなかった	0
		26

Q10.ワークショップの内容



Q11：Q10で「良かった」「良くなかった」と回答した方にお尋ねします。その理由はなんですか？

- ☆作りがいがあってたのしかった。
- ☆物作りの大変さをサラッとやりこなしているプロの姿を見れた。
- ☆すごく話がおもしろかったです。興味深かったです。
- ☆仕事のうちの一つをやれたこと。楽しかった。
- ☆革の手入れの仕方がよくわかったので良かったです。
- ☆普段使うことのない木工用具を使っての体験ができたので楽しかった
- ☆かなり楽しく興味深かった。
- ☆ふだん出来ない事を体験できてよかった。教えていただきありがとうございました。
- ☆ボタンを機械で付ける時が楽しかったし、貴重な体験ができたからです。
- ☆やさしく、ていねいに教えていただいた。
- ☆工場内の見学、職人さんからのお話、手作り体験ともりだくさんでとても楽しかった。職人さんの優しい人柄もすてきで、とても丁寧に対応してくださりうれしかったです。
- ☆普段あまりみた事がない工場の内部を説明して頂き驚いた。勉強になった。
- ☆良い。はじめての体験ができた！素晴らしい技能を見て聞くことができた。湖東地域にこんなお店があると思わなかった。
- ☆作業は楽しかったですが、2時間はすぐでした。初対面の方々とようやく打ちとけた頃に時間が来たのももう少し長い時間しっかりと交流や作業もやり込みたかったです。
- ☆大変良かった。説明が丁寧で、楽しかったです。とても感じがよかったです。お店の気づかい、もあり、説明がとても丁寧でした。エプロン持参すればよかったなとちょっと思いました。
- ☆実際に体験し、職人さんの思い、情熱を聞くことができたから。
- ☆教えてくださった先生が良かったです。また体験したいです。
- ☆なかなか体験のできないものづくりをていねいに教えていただいたので。

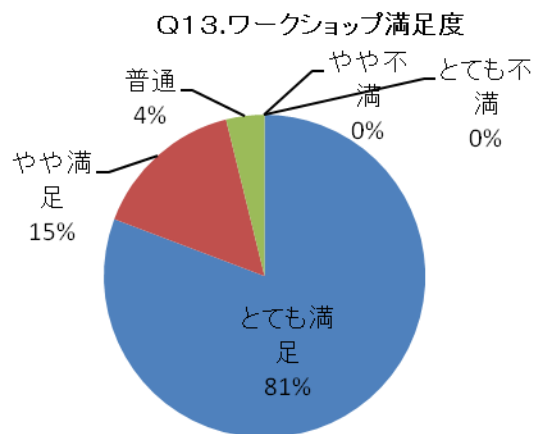
Q 1 2 : 昼食時の料理体験の内容はどうでしたか？

1	良かった	22
2	普通	4
3	良くなかった	0
		26

Q 1 3 : ワークショップ全体を通しての、満足度・
時間設定についておたずねします。

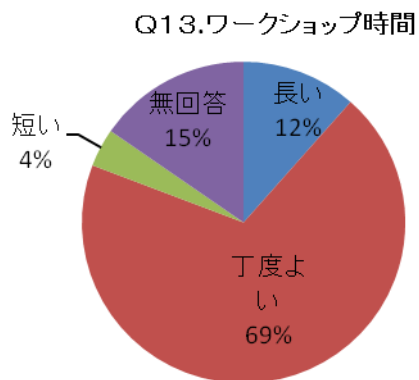
満足度

1	とても満足	21
2	やや満足	4
3	普通	1
4	やや不満	0
5	とても不満	0
		26



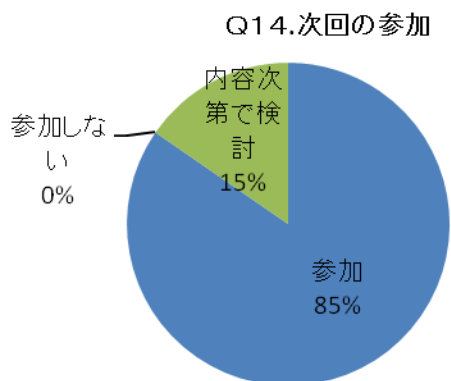
時間

1	長い	3
2	丁度よい	18
3	短い	1
-	無回答	4
		26



Q 1 4 : 次回、企画のご案内があった場合、
参加しますか？

1	参加	22
2	参加しない	0
3	内容次第で検討	4
		26



Q15：今回のワークショップの感想、お気づきの点などご自由にお書きください。

☆事業所を選べるとうれしいです。職人さんのワークショップは普段も予約できるとうれしいな。

☆お昼ごはんを食べ終わったあとにワークショップのビデオを見れたことによって物作りすることにより一層愛着がわきました。行き届いたスケジュール等により楽しく行程をこなすことができました。ありがとうございました。

☆伝統の朝市、酒蔵見学など企画内容が充実していて良かったと思う。スタッフの皆さま、準備等おつかれさまでした。ありがとうございました。

☆もう少しバスが大きいバスだと良いです。大雪の中、ありがとうございました。

☆体験、見学、楽しかったです。また来たいです。

☆昼食も美味しかったのでまた食べたいなと思いました。

☆今回の企画とっても楽しかったです！五城目の朝市や蔵開きや料理体験、ワークショップとこれでもか！というくらい3地域の魅力が感じられる内容でした。
また今回のワークショップを通じて普段から手作り品やクラフト品が好きで集めて使ったりしていますが、その物を作っている実直な優しい職人さんがいることを知ることでもっと使う側の私達もすっかりと勉強し、知ってまわりにも広めたり大事にする姿勢が必要だと感じました。ありがとうございました！職員さん、職人さん達にとっても丁寧に対応していただきました。

☆いろいろ体験できて楽しかったです。

☆とてもたのしいワークショップでした。五城目の朝市も、いつもなら車でさっと通ってしまう所をゆっくり歩いてお店や市を見ることができて、五城目町を知ることができました。ただ、ある程度ワークショップの希望が出せるとうれしいです。

☆自分の好きな所に行けないのはどうかと思っていたが、むしろ、新鮮な発見ができてよかった。来年も参加したい。

☆充実した1日でした！¥1,000 とはびっくり！どのワークショップも魅力的で他のものも体験してみたいと思いました。

☆普段、体験できない事を経験できて楽しかったです。ありがとうございました。

☆みんなが一致団結、すばらしい。商工会のリーダーシップすばらしい。商工会の職員の対応すごい。楽しめた。みんなに広めたい。教えたい。ワークショップいいネ。体験型がいいと思う。

☆昼食の鍋は今まで食べた中で一番おいしかった。石屋でのワークショップの説明がすばらしかったです。また機会がありましたら、勉強させて頂きたいです。忘れられない体験です。ありがとうございました。

☆盛りだくさんでとても満足した。良い企画と取組に感謝したい。

☆とても楽しかったです。皆様の細やかな気遣いが嬉しかったです。ありがとうございました。

☆酒蔵見学や朝市をもう15分ほど時間がほしかったです。新聞を見ての応募でしたので、受付いただいた時にFAXや郵便でパンフレット（時間の説明や詳しい内容）を送ってほしかったです。すべてにおいて満足で楽しかった～。ありがとうございました(∩O∩)

☆町外の人達に湖東3町の良さを知ってもらうためには、いい取り組みだったと思う。職人さん達のはげみにもなると思う。後継者作りが目的だとすると・・・？難しいですね。全般的にはとても良かったです。ありがとうございました。

☆新商品づくりにも挑戦されていてすてきな仕事だと思いました。世界にまで進出されることを期待しています。このような体験をさせていただきありがとうございました。

☆湖東3町のいい所、たくさん観せてもらいました。すっかり湖東3町のファンになりました。チラシや封筒、ビデオ制作などすべてセンスを感じられました。学生も参加していて、なんだか嬉しかったです。(高校生がモノづくりに参加するのはいいことだと思います。)

【事業総括】

当日は、午前9時に秋田駅東口5番乗り場から参加者を乗せたバスが発売したが、大雪の影響により、現地への到着が約20分遅れた。参加者は地元酒蔵、五城目の朝市「あったか鍋まつり」を見学し、その後午前のワークショップ会場である飲食業事業所へ移動。

飲食業事業所では、家庭で出来る美味しい「だまこ（秋田県湖東地区発祥の郷土料理）」のつくり方と、鶏のさばき方についての実演を受け、参加者が実際に「だまこ」を作り、昼食として、自分の鍋に入れて食べた。

昼食後は、ワークショップ実践事業所の動画を見る事で、実際に参加者が受講する体験講座について事前に擬似的体験をしてもらい、期待感を高めた。動画を見た後は、午後のワークショップについて抽選を行い、5班の組み分けをしたのち、各事業所へバスで移動し、5事業所でワークショップを受講した。

【皮革製品製造業】 ■受講人数：6名 ■内容：革小物づくり体験 ■所要時間：2時間

【武道用品製造業】 ■受講人数：5名 ■内容：武道用品づくり体験 ■所要時間：2時間

【建具製造業】 ■受講人数：5名 ■内容：木製小物づくり体験 ■所要時間：2時間

【木材木製品製造業】 ■受講人数：5名 ■内容：木製小物づくり体験 ■所要時間：2時間

【石材加工業】 ■受講人数：5名 ■内容：製品試用・工場見学 ■所要時間：2時間

各コースは午後3時30分までに終了し、午後3時45分、商工会五城目事務所において、閉講式を行い、秋田駅東口5番乗り場へ出発し、午後5時、参加者は、現地にて散会。

【アンケート集計内容】

①参加者の属性（性別・年代・職業・居住地）

女性が6割を占め、世代は、10代と、30代から60代が均等の参加率となっており、20代の参加が少なかった。職業等では公務員、パート/アルバイト、学生の占める割合が多く、2名の自営業の参加もあった。秋田市からの参加がほとんどだったが、東京からの参加も1名。

②3町への来訪状況について

参加者の88%が当地区を訪問した事があり、内、五城目、八郎潟、井川の順の来訪率。

③ワークショップについて

今回のワークショップを知るきっかけは、知人からの情報が50%と高く、予想に反してSNSによる参加は少なかった。また、約7割の参加者がワークショップ初参加であり、テーマに対する関心やものづくりに対する興味が参加理由で、創業を視野に入れた参加者は無し。

また、ものづくりに対する知識の習得を期待した参加者が多く、午後のワークショップ開催時間(2時間)については約85%が丁度いいとの回答であり、内容も9割が良かったとの結果。

内容が良かったと答えた参加者の意見を抜粋すると、「プロの仕事を体験できた事」、「モノづくりを実際に体験出来た事」、「普段使用出来ない工器具を使用出来た事」、「丁寧な説明」等々、見て話しを聞くだけでなく、実際の作業工程の一部を体験出来た事に満足した様子。

ワークショップ全体としては80%の参加者が「とても満足」と回答し、85%が「再度参

加したい」との回答であった事から、当初の目標であった、「当地域とそこに根付く地場産業について域外からの f a n をつくる（増やす）」が達成出来たと感じている。

参加者の満足度が高かった分、次回開催にも期待している事から、引き続き、当地区地場産業の f a n を増やす為の取り組みと、伴走型個社支援を平行して実施し、魅力ある製造業としての地位向上と湖東匠集団のブランディングを進めていきたい。

【事業成果】

経営発達支援計画の目標達成のための中長期支援事業方針とし「匠事業メンバー同士での自主的な勉強会開催や新商品開発・コラボレーション商品開発・商談会出展参加・町ゼミ開催・他団体との連携等を促し、新しい時代のニーズに即した経営展開による販路拡大を支援する。」となっており、当該補助事業では、湖東3町匠集団の小規模製造事業者に対して伴走型個社支援へ繋げる為、需要開拓支援としてのワークショップを開催した。

需要開拓支援として設定した目標は、ワークショップを実施する事業所5社、ワークショップ参加者30名とした計画の基、販路開拓セミナーを経てワークショップを企画した。

販路開拓セミナーの講師からは、事業者の「やらされ感」が出ない内容とする事、他とは違った切り口で開催する事、少人数の方が人間関係を構築しやすい事から、参加者を沢山集める事はしない事、自分が損をする情報を提供する事、参加者にどのような付加価値を提供するのかを考え企画する事、映像を取り入れる事で効果が高くなる」と提案された。

販路開拓セミナー受講後、ワークショップ開催事業者を選定し、(自薦/他薦) 選定された事業所には何を魅せるか、何が出来るか等を考えてもらい、併せて講師の助言を参考に企画したのが「職人の町、湖東を巡る 手技ワークショップ」である。

開催実績については以下の通りである。

	計 画	実 績
ワークショップ開催事業所数	5 事業所	6 事業所
ワークショップ参加者数	30 名	26 名

今回のワークショップを販路開拓と事業承継のツールにした事で、従来のイベント開催とは違い、事業者が真剣に取り組んだ事で、参加者との人間関係を構築する為のコミュニケーション能力や、モノづくりが初心者である参加者に対して、自社の強みや技術を咀嚼して説明する等のプレゼン力の向上、また、一つの事業を集団で成し遂げた事による組織としての結束感が得られた。

また、内向な職人氣質からの脱却し、外向き志向で自ら販路開拓に取り組む姿勢が醸成された。

事業実施が当地区の地域リソースでもある朝市の「鍋まつり」開催に合わせた事で、開催が2月となり、当該補助事業が終了する時期と重なった為、成果が出るまでの期間が短く、事業所の販路開拓にどう繋がったか等について定量的に示す事は現時点で難しいですが、この事業を通し、“経験知によるただ作るだけ”の職人から、技術の棚卸しをする事で、自社の強みを理解し、技術や製品を相手に伝える力を身につけた事は、伴走型支援の成果として、数字では表せない人的資産の強化が図られたと考える。

ワークショップ参加事業者は、この数年間で中期の経営計画書を策定した事業所でもあり、このワークショップは、伴走型支援としての販路開拓の位置づけと、後継者対策や事業承継の側面も含んでいた。

初年度の今回は、当地区と事業所を知って貰い、ファンを増やす事を主眼に実施したが、次のステップとしては、新商品開発や域外への販路開拓を通して売上を確保することで、生業経営から事業経営への転換による、小規模製造業のイメージアップを図り、技術やノウハウを構造資産として構築し、後継者に繋げることで、事業承継を促したいと考えている。

また、湖東3町匠集団としては、組織としての関係資産を構築し、将来的には経営発達計画にもあるように地場産業の振興と、持続的な発展の構築を目指す。

〈当該事業スキーム〉

